糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

御仕置例類集　僧出家　弐拾二

史官之印

一 仕丁例類集或給或賜帳面ノ事

一 侍出家社人當違所令ノ事

一 主従親族ニ拘ラス類

一 自所ニ拘ラス類

一 没収等ニ関スル類

一 捜査関係ニ関スル類

一 中村方ニ附属スル類

一 条約改正ニ関スル類

一 監獄ニ関スル類

主従親族ニ関スル類

享和二戌年四月

町奉行

小田切土佐守

一牧野越中守同会津

侍従至急飛脚ヲ以

被仰渡

牧野越中守家来

三沢大学儀急病ニ而

家来両伴為名代

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

享和二戌年出役
京都町奉行
一大坂ニ而南裏町郊屋敷初年貢
百弁済ニ付一件
梅岡家教来
ニ七帝事
木村二万次郎

不正当之事相辺

[illegible]

文化元子歳
京都町奉行
一橋井宮家来薄右馬之丞

右之通被
仰渡候間
此段申上候以上

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

許可通牒

出雲板
寛政四
十二月

曲阜孔廟器械

但父兄別
[illegible]
一旦偽
右例

国立公文書館
National Archives of Japan

文化元年歳
寄町奉行
一 南町奉浪人 津田郁次郎 対一云
おゝきの一件
右之通被

国立公文書館
National Archives of Japan

文化二丑年度
勘定奉行
石川左近将監行
一武州上川上村之高麗
及褒賞之一件

[illegible]村彦兵衛雇之産
岩井祝助
同人抱之産

小川久八
同人雇之産
[illegible]朱吉雇之産

右岩井祝助儀、[illegible]
[illegible]之[illegible]
[illegible]及不法且[illegible]
[illegible]
[illegible]

文化七年午年渡
申歳御年貢
一江州高城村外
有之一件

小笠原佐
渡守領分
小坂甲次郎家来
高木篤之

高木篤之丞寅年九月江州高城村
少松浦村地頭
ヶ年之人方ゟ七通
之通ニ付村方ゟ
百姓共ゟ御代根ニ
村方ゟ御年貢
村方御役人

自治省

文化二酉年改
町奉行
小田切土佐守殿

一小普請組支配組頭
盗ミ
一件

西九
表御番
玄久

国立公文書館
National Archives of Japan

文化元子年度
京都町奉行内
一水野備後守屋敷之図一冊
水野備後守
門番
外門

文化元子年度
東叡御寺元住持法養申寺
一冊別紙目録相添之一件
一紀院未
寺町三通上ル町
多額寺
明養

許可通牒

文化元年度
大板町事務用
一枚
一件

右之通葉遣申候間無相違
書

文化六巳年被
出府従職役
戸川大学殿
一 同時会所伺之前初年盛ゟ申上候

支配
甲斐庄武助前家来
月役
吉田吉郎兵衛
同人家来
中間支配ゟ申上候
海老原良蔵

右之者当役中間組頭之論願出候者
之外中間共ニ相談之上今度追々相窺
候得共組頭不将ニ付申渡候旨相成候
為之何附方も不都合ニ付取計候ニ付変
有之候儀共も不埒ニ付相成年来所日
中付方不行届之仕附方宜ニ付旁不
急度付右同前家来江被申付海老原良蔵
御座候年月日押込

許可通牒

文化三寅年出候

佐渡奉行伺

一 佐州常浦村江唐船漂着初発ヨリ申上候

以上之一件

佐州加茂郡
元夷湊番所役
出雲崎役

静間左吉郎

夷湊番所役
須田忠三郎

同上同船
警衛浦同付役
宮沢茂之助

右者加茂郡鵜浦ニ於て致漂着候異国船
拙子其村江致入札船止り村方
取退候ニ付取計候段相済候趣

人足頭ヨリ成共百姓代ヨリ成共相撰ミ差出シ候様ニ
村方ニ有
村方ニ而ハ相撰ミ不申村方ニ而ハ其儀ニ及ハス候事
ニ付而ハ其村方ニ而ハ相撰ミ差出シ候様ニ可仕候事

一

一御進発御通行之節浦々ニ而ハ人馬
差出候ニ付而ハ其浦ニ而ハ人馬ニ
不限諸色ニ至迄買上ケ候儀ハ勿論
之事ニ候得共不心得之者ニ而ハ
右之事ニ託シ押買等仕候儀モ
可有之哉ニ相聞候間其浦ニ而
ハ人馬諸色ニ至迄買上ケ候儀
ハ勿論押買等仕候儀ハ堅
ク無用ニ可仕候事

文化三寅年歳
京都町奉行
一 堺小松町市之
町借家掛ノ一件
小堀中書殿家来
武島安之允
中井筑前守家来
辻子市之

いたし候而も不存者共ニ承り合いたし
此もの出入致度旨申紙ニ認差出し候節ハ右
入会之ものニ而腰札相渡し候上ニ而
出入いたし候儀ニ有之候処紛敷者も不
心付相改候ニ付右等之儀出入口ニ而相改
出入人別相改候様申渡し候右寄合
人之出入ニ付紙ニ而相渡し候事ニ候得共門
番所ニ而相改可申然上ハ右入会

決而不心得無之様可被申付候
依而ハ前来之通改方可被申付
出入之者共ニ右押込ニ付以来入会
相守可申様申渡し置候間此段申達候
也

評議之通

水野伯耆守組
与力

一

文化七午年分
甲府勤番支配伺
一甲州上村名主初年増奥之之一件

甲府勤番
太久保志摩守支配
大嶋橋七郎右衛門
松野藤右衛門

右之者儀名主人共組頭ニ而権兵衛頭若者へ
之作揚奥伴限不残ともに取計等印し
申付方も筆深ニ存候ニ付 二十日

押込

右後寛政二戌年済候ニ而不ヶ成ゟ
長谷川平蔵火附盗賊改役之節松同ニ
田村権右衛門家来池田甚之助御預ケ
内中間部屋ニ而出扁所ゟ無人留置申

間ニも之外益候得ハ不残出勤為致之人
打続候様実ハ々易ニ出勢之儀之仕様ニ付
之も為を古来之儀人殊吉も有之外
云之儀筆紙ニ以て更ニ限不行届
不悟ニ付当年十日押込之相伺済之上
伺之通之者申上之通申付候
伺之通三十日押込
済渡之通牒

文化四卯年歳
日光奉行伺
一 正當松苑惜実簡取計之義一件
日光御領家来
福田吉作
外弐人
右之者共儀男難行ニ付中務等別而

非常ニ不都合ニ付
可然御取計人出
或人物ヲ以テ御願ニ
ヲ不取敢
御一同不取
宗寛改方
御上野中
被建安堂

文化元年十月
安部野村伝四
一冊 仮名付本村人寄帳
 但し一件

井伊掃部頭家来
 西村助之丞
 外二人

古文書仮綴多門伝八郎殿

文化四卯年出ス
駿府町奉行伺

一 駿府浅間社人秋山将監悴小泉杉之助
初筆道ニ付一件

駿府
浅間神主殿
新宮兵部殿
其外 社人

右之者共浅間社神前勤番之日ニ致
隠居物ニいたし是迄仕来之勤番之節
杉之助ニ致次川合神前ニ有之候
御役附袋入并一腰差置及不存
旨ニ付候処附方不行届不念ニ付
三十日押込
右ハ寛政六寅年池田筑後守町奉行
勤役之節伺之上申渡申付候由書付

許諾通牒

文化二辰年改
東京町奉行
一仙石越前守家来西山伊兵衛初筆陳書
添判之一件

忠貫
右衛門尉元武
七里左京亮

右之家中武家有馬左膳分
百姓之儀ニ付金銀貸借
越前守ゟ町奉行迄相届細右
印山伊兵衛初筆ニ而出金之者返済
若貸渡ゟ之儀ニ付名及指扣之後
了候渡候ニ付名及指扣之後
訴文ニ付吟味之上遠ゟ
御咎之儀ニ付遠ゟ及指扣

出資附金
前年
事起
許諾
再附
出資
少将中将元老
田家
進

仙波過所

文化五辰年出發

京都町奉行伺

一 二條在番組頭宮崎太郎兵衛元中間足軽盗
いたし候一件

御門番之頭
松平伊賀守組与力
須賀井亮助
外 壱人

右之通ニ候
御城二之御門東御番所番頭中間御門組
召出之者之屋敷ニ而不存候ニ付右中間者
よりを頼入丹通所ニ而中間ニ付盗取候
物之縫大刀服衣之類茶ニ而持出し候
所色々之書付壱人ニも同様三十日押込
申付候 今般牧野大和守殿定之一件
相伺候之人合之御書ニ而内意申年

浮浪ニ通牒

右ノ者ハ
行旅ニ於テ病気ニ罹リ
為メ止ムヲ得ス当地ニ
滞在スルモノニシテ
怪シキ者ニアラス
依テ此段
旅人証明
高梨友九郎
外弐人

浮浪ニ通牒

右ノ者ハ行旅ニ於テ病気ニ罹リ為メ止ムヲ得ス当地ニ滞在スルモノニシテ怪シキ者ニアラス依テ此段旅人証明ス

明治弐拾弐年四月弐拾日

高梨友九郎
外弐人

旅人証明

右ノ者ハ行旅ニ於テ病気ニ罹リ為メ止ムヲ得ス当地ニ滞在スルモノニシテ怪シキ者ニアラス依テ此段旅人証明ス

明治弐拾弐年四月弐拾日

高梨友九郎
外弐人

浮浪ニ通牒

右ノ者ハ行旅ニ於テ病気ニ罹リ為メ止ムヲ得ス当地ニ滞在スルモノニシテ怪シキ者ニアラス依テ此段旅人証明ス

明治弐拾弐年四月弐拾日

高梨友九郎
外弐人

大肥後守 七
外 壱人

右之者共儀
御城懸被仰付番所ニ而番中相勤出入廻り之上
ニ而者是不存旨ニ而右御番所より
可及出場處ニ而依之相違之儀伺候
非常之儀も存知候者限之事ニ付
ニ付為御為人日数五十日押込

此段於御書付ニ相成候ニ付
御城内懸り被仰付番所在中ハ
同心共を以急度相心得可申十月十四日夕
七ツ時より組之者共引請申相違無之右
御門番二人御門之番内附より人切ニ
相成候中も何之通りも通路可相成所
ニ而怪我人有之も不案内ニ付上
御條書来ニ内ニも不在物之無之

江海之通例

文紙焼棄処
松前茂広引
一箱雑物焼棄ノ件
松前茂広引
沢宮善弥
同日
沢宮勤六

右之通相違無之候也

万延元年申二月

沢宮勤六

第壱之製茶焼棄処
我人共ニ而焼棄候
右焼棄ニ付食事ニ
ニ而食事仕候
為引取申候
沢宮勤六
箱数ニ而

国立公文書館
National Archives of Japan

文化元年度
松前家新借
一組同心秋山左馬初栄中善信物ゟ
出来ニ付一件

松前家新借忠
出来ニ付ゟ

秋山左馬

右之後御勘定吟味時松前家仕法御廃ニ付

文化六巳年歳
松前奉行
一箱 厳出張役人一件
箱館奉行
清水勤吾支配
山崎信
田中宗兵衛

右之通去ル十二月七日松前江着之

[illegible] 元年閏四月廿日箱館奉行所炎焼ニ付御用状
焼失ニ付一時遅之不及
一通七巳出張役人江渡来候書付
立会ニ付不取敢写置
宝永年間之古キ物ニ付
箱館奉行所江

許可なく複製等を禁ず

文化元年歳
日光御門主
一行当寺御初度御
古文書

非常ノ事情ヲ以テ
別ニ之ヲ処分ス
前右ノ通リ失格
二名宛御渡
七月右仲枝ヨリ
御手許村能義悟ヨリ
被下度事
御手許ヨリ
二十日押込

仍テ此段一応
御届申上候
以上
明治十年
御届人
仲枝寛政
同
村能義悟
同
上野中間
天生支配
陸奥国
御人預ケ
御手許ヨリ
右ノ通リ
御渡被下度
此段
御届申上候
以上
八

文化七年申歳
東叡門主御領
一泉州福田村無宿
徳次郎外二拾
右之者共御寺門海老束
野澤井城院
存之外表向
無宿
徳次郎
外
拾
右之者共御寺門海老束
野澤井城院
存之外表向
無宿
徳次郎
外
拾

地中海沿岸諸港ニ於テ本邦人ニ対シ
又ハ欧州列国人民ニ対シ
ヨリモ不利ノ待遇ヲ
右如キ法ヲ設ケ
条約ヲ締結シ
其ノ他ノ事項ニ
ヨリ
等ノ
通商ニ
ノ例ニ

書付ヲ以テ
限ヲ定メ
百円ノ
許可ヲ
通

右之通被
仰出候条
此旨布告
布達候事

明治

其節在番之
有之候ハヽ
押処

許候之通

文化七年寅歳
松前奉行
一松前福源寺之
弥吉一件

右之
寅年

川道捕人内外之人々も一連ニ年八
隊先一同ニ雨撫方ニて大砲ニ
差出ニ候ニ付御届申上候
隊長石原宇
為人中遣候ニ付御届申上
去年御役ニ付加藤御
相談御届申上候

浜松通信所

仮消滅明十七年
不得已ニ中
為ニ中会連
手当ニ及ス
明治廿一年
御廃書ニ
若人中退
年若人民

一

川通往田外二ヶ所
組合銷守取根差候ニ付
行き来し間指
候ニ付根通り除
指を以見出
来吉兩掛り之例ニ準一件同
依田窪ニ而
但同九年取極候
候後去年十二月廿日守田柿除日

二日内ニ改メ組
守板ニ而ニ改方ニ而
而指ニ出候ニ付
例ニ見合候通ニ守日ニ押込

許改ニ通

文化七年申渡
火附盗賊改
大林添書付
一元飯田町源次郎
牛込
築土明神前
天台宗
改鏡院家来
飯塚筑前

国立公文書館
National Archives of Japan

許可

文化七年午年渡
大清盜賊改
松浦大船何
一艘宿崎浦ニ盜ニ付一件
　　出候書
　大久保加九郎家来
　　八木仲右衛門

右之外後中ニ而於長崎他所之もの之出宿

文化八未年閏
澁府町年寄
一 澁府与福町
一件

服敬人書記
年寄人
石橋清吉

右之通相違無之候
以上
文化八未年閏六月

許可

右同
三浦大八郎

右之者酉八月六日牢内掃除之節
内ゟ書物致所持候ニ付
牢舗之内ニ隠置候ニ付致吟味
牢内披露致不埒之段取扱
酒之節ニ付候ニ付 不届ニ付 申渡候

酉十一日押込大八郎儀酉八月六日牢内
掃除之節内ゟ書物致所持候處
牢内披露ニ及候段不埒ニ付
三十日押込

此儀前書之通掃除之者見届候一件ニ而
依田和泉守殿相伺候上申渡大八郎儀
去酉十二月廿日牢内掃除之節内ゟ
書物致所持候処酒之者共ニ申聞不届ニ付

文化八未年出役
宿村附書付
一冊

一冊渡置候間受取可申候以上

川路聖謨㊞

松橋御役所

右之通被仰渡候間請印之上

押辺ヨリ本国浜ヨリ通本所ヨリ
ヨリ通本所ヨリ例ノ条不乱ノ事人小
本遠ヨリ仮中宮寺ヨリ報ヲ以テ届ケ
何ヨリ通ヲ以テ日押辺

浜ヨリ通

文化九申年渡
本所ヨリ何
一筋川勝野村ヨリ通常宿風林坊ヨリ
岩ヨリ一件

宗旨
東本願寺末寺
徳善寺

宗旨
印ノ人

文化九申年歳
日光御祭礼
一元宮御祭礼
一件

日光
門前宿役宿一切
観世坊
光順

噺いたし候ニ付而も右之年月不存候ニ付
出置物之中御救之儀相成候由当番之
両柔之者共御儀御救之相耕弐免合中等
之御救当分囲免不申旨申之候処一同
不為之日為ニ而も日数之年中日宛押込之
右同所役之上関所出非難人当〻
従惣之同所擬之於之中之通出候ハ
聞之見届可然奉存書付之趣ニ而も付

御俵所之御救之拾合被成候様仕度
義并上御差上取弍当宗之儀も御
照会振別而不宜江御座ニ付
可有之旨何之通仰付候様日光山御掛

伺之通

日光
御宮出町名

大楽院中興

三上何ノ通ヲ
見在何ノ通ヲ
浮浪ノ者押込
久紀九年度
松前奉行ノ
一捕亡ノ者西亜人
同ク
今井豊八
和ノ人
飯田幸吉
和ノ人

例之通

而當年ノ外交
外ノ人無ク陳ス
板垣ニ基ク所ノ
去ノ後生ズル所ノ
ノ經ヲ今ニ紀ス所ノ
ニ千日押ス

仕候ノ條言ヒ執ル
法切腹門ニ

許諾を得て複製

右ノ者ニ
同公爵家ヨリ押送ノ
ノ後魯西亜人ニ
拘ラズ神用ニ
御下賜ノ
一年

文化十四年十一月
日光東照宮
一日光第壱長官
大楽院
用役
大納言

右之者ニ紙ヲ元之ノ

廃棄

国立公文書館
National Archives of Japan

許可済

指定関係公文書類

国立公文書館
National Archives of Japan

文化元子年度
箱館奉行組
一箱館奉行
箱館奉行

文化元子年度
甲府勤番支配
一 両隣名前盗ニ入候一件

小笠原仁右衛門
甲州巨摩郡下蔵村
下蔵小社家

相糺候処、盗ニ入候段、相聞人父

一学ニ而候ニ付、右様之儀無之段申候ニ付、
其儘ニ差置候処、
弐度盗人ニ入候ニ付、
早速召捕糾明之上、
其筋江引渡候ニ付、
此段も申上候、
以上

許容し難し

許可通牒

文化元子年四月
京都町奉行所
一 南鐐弐朱銀人津田郁次郎儀
及不法之一件

松平上総介家来
吹代佐七郎

八田四郎

右之者儀津田郁次郎儀

評決之通

文化二丑年出版
佐渡奉行伺
一両時雑書御用
上寺町
勘兵衛
源敬

奉差上御伺書付

文化四年度
佐渡奉行伺

一佐州羽茂水村元名百姓
地内之内一件

前田大和守領分
上州甘楽郡奥平村
新兵衛外弐人
宗旨院

国立公文書館
National Archives of Japan

浜改之通

文化七午年出役
火附盗賊改
大林弥左衛門

一 無宿子供盗いたし候一件

武州比企郡犬年村
天台宗
慈光寺役僧
浅然
右慈光寺
専如

右之者共慈光寺隠居所不寄合起し候砌
戸を明出し候盗賊有之人数立差候所
抱之者引渡し押伏小刀を取上候と申
子供共右寺内ニ而右小刀を取上実否相分
難く又盗賊相違も不相分申上候右ニ付
来る迄返し置候所此段も申渡し候処
無宿無頼者の内ニ而重之候
不届ニ付盗賊捨置候段不届至極ニ付

文化七年辰霜
長崎奉行問
一肥前国高濱村八十郎石切年ゟ
一件

高木作右衛門
肥前国松浦郡高濱村
一向宗
金徳寺住持
台助

例之通不埒ニ付遠島
申渡候ニ付
評儀一通御済

国立公文書館
National Archives of Japan

不容易事ニ付
永上中退散ニ付
陸地ニ来中
ニ付
永上ニ付
旧例書ニ
申報ニ付

一乙五番寺より何通差届

浄土宗

国立公文書館
National Archives of Japan

文化八未年改

甲府勤番支配

一玄蕃某差添出府

代官所田村善兵衛

甲州巨摩郡中之郷村

浄土宗

生蓮寺

智全

文化十四年四月
日光御門主
一日光兼住長尾寺及寺内一件
日光一坊
兼住
唯教坊
信静

右之通御役所ゟ被仰渡候ニ付

日光一坊正住坊弟子
御供役僧
禅観坊
覚栄
同知足坊隠居
兼任
法明房
海音
右之者共儀此方ゟ元ニ而致入念ニ振舞候ニ

御別当者数度御宿坊ニ付右之者共ニ出入場所
相之候ニ付伝別ニ而可然諸祝儀相済
場ニ而者紙海音儀入湯ニ而者居覚栄
儀ニ入湯所ニ而者浄居ニ而進雑教坊龍分
出入可申ニ御座候上ハ是非共ニ差出候覚栄ニ
御附有之候共振ニ候一円不届ニ付右之十日
押込
右之段者右年許ニ御座候ニ而御咎ニ而門

中台方針等来電綴

享和二戌年閏
長崎奉行
一服部周防守殿
去年次ニ而御書翰ニ附
長崎大音寺
役僧
恵旭

文化元年改
元ノ儀ニ付
問合之儀ニ付
一下谷広尾傳次
請奥ノ一件

上州邑楽郡小泉
市山領渡
加納院

右之通被仰出候間村内不洩様可被申渡候
若病人等有之節ハ其所之医師江申談
療養方等閑無之様可被心得候
尤疱瘡流行之節ハ勿論平日ニ而も種痘
致候ハヽ決而麁末無之様可被心得候
右之趣不洩様可被申渡候
以上

午
三月

甲府勤番支配

許可之通届候

文化元子年歳

甲府勤番支配

一甲州東青沢村武蔵
一件

甲州巨摩郡西河内
万処山久遠寺末寺
甲府柳町
法華寺
日桂

許可通牒

右

陸軍省海軍省

當院

李桂

右ノ御事件実情ノ有無及
其ノ筋ノ意見等至急御回
答相煩度此段及御照会候也

昭和十年十月廿五日

内閣書記官長

陸軍省
海軍省
各次官殿

許可通牒

文化元子年出役

大坂町奉行

一松平日向守足軽仲間死失人依之請取

以之一件

一玉造御門番松平日向守組同心百人之

内小頭衣沢方右衛門之孫之助と申者

頃者之間出役兵衛毎日明六時御門出建

玉造口大番頭同心之者ゟ差出玉造

御門番衆之同心ニ而出役御門番之時

大坂与力同心雇用人大坂町奉行之

右之者同組与力〆同心之内者之命

之件大坂町所町奉行同組与力ゟも可申

御座候得共及其筋之勤方之出役ゟ上之者

前月同日出役之同心方御付ニ付右之

御掛紙御失之儀ニ付取事之形一同可有

文化元子年渡
当沢町年行司
一 南部名代人
及下役一件
一 石塚宗右衛門家来森将曹儀去ル十蔵
十月ゟ通行会仕同人儀旧藩者ニ付紙
届ル町家ニ去ル廿五日ゟ
御ゟ
十蔵
物
十蔵
物
ゟ
乗
ゟ
ゟ
永
ゟ

文化三寅年度
書類附箋ノ件

一 指上候書類附箋之儀
御尋ニ付差出候

一 小川新田根元ニ而組頭給米之儀
御歳貢ニ而年造高七拾俵
御代官ニ而右之俵ニ俵ニ俵

文化四年卯
甲府勤番支配
一甲州上野村明神

文化七年午歳
箱館表より
一箱館焼失

国立公文書館
National Archives of Japan

蒲生忽太守遠賴

享和二戌年歳
高杉門葬列
一本板之墓碑高
五尺弐寸
梅室家室
岡井友馬

一 御用状之通
三千目押込

許可

中暮之通

近海ニ於テ漁業ヲ営ム者ヲ
一同ニ集合セシメ之ヲ保護取締ノ為メ
永野警部補ヲシテ巡査一名ヲ引率シ
鹿之島ニ出張セシメ各漁場ニ於テ
犯則ノ有無ヲ検査セシメタリ
犯則ノ為メ人員ヲ没収セラレタル
数ハ左ノ通リ

一 鹿之島ニ集合シタル人員ヲ親ク之ヲ訓
示シ且ツ各漁場ニ於テ
犯則ノ有無ヲ検査セシメタリ
犯則ノ為メ人員ヲ没収セラレタル
数ハ左ノ通リ

文化元子年度
高野山奉行
一冊 刈稲村組御
こも一俵 相上ル一件

冊刈水上歌稲村
水吐之儀ニ付
大庄屋名前
梅田又兵衛

国立公文書館
National Archives of Japan

右之通御届申上候
以上
十一月 同村
庄屋 孫兵衛
組合之人

以上

文化元年度
当村高反別
一高四百弐拾
石壱斗壱升

右之通相違無
御座候以上

大坂今橋四丁目
学校役所

中井七郎

文化三年出版
京都御所向
一元宮和琴九弦琵琶事ニ付

西洞院一條上ル所
樂人
林 日向

右之通琵琶和琴不事

文化弐年度
作成書類目
一 作州雑太郡小畑村元名主九郎兵衛
　　外弐名
　　上州碓氷郡板鼻宿
　　天宗
　　役者等

少事ニ中ニ付速ニ
和勘ニ等ニ不取
ニ付ニ日数ニ
ニ付一件ニ
ニ延ニ年日押ニ

一 許可ニ通

天ニ年第院ニ今ニ通ニ
ニ不取ニ
ニ付ニ
ニ

一 許可ニ通

ニ取ニ不取ニ
不取ニ付ニ
中ニ

ニ取ニ不取ニ
許可ニ通

一 伏見ニ物向町
村田ニ

浜松市立図書館之印

浜松市立図書館之印

文化七年庚午歳
松平豫州侯
一条兼香卿より
賜之候書

松平
浜太京
西洋寺事
順音

元老院

文化九申年閏
大坂町奉行
一御用状 壱通 奉書
御添状 壱通 奉書
右之通京都風

国立公文書館
National Archives of Japan

為替御案内
引受手形書
左之通御座候間御承知之上
此段一件ニ付関係之者人伴御廻
申上候以上
年月日

文化七年未渡
少附至候処
松浦大服向
一条岩倉帝
山王町
岩倉帝

死罪

国立公文書館
National Archives of Japan